



本状は、以下のいずれかの市区町村に、現在お住まいの方々へさしあげています。

岩手県二戸市・軽米町、秋田県横手市（旧横手市・雄物川町地区）、茨城県笠間市（旧友部町地区）・桜川市（旧岩瀬町地区）、東京都葛飾区、長野県佐久市（旧臼田町地区）・佐久穂町（旧佐久町・八千穂村）・小海町・川上村・南牧村・南相木村・北相木村、新潟県長岡市（旧小国町地区）、大阪府吹田市、高知県香南市（旧野市町・香我美町地区）、長崎県佐世保市（旧宇久町地区）・小値賀町・新上五島町（旧新魚目町・有川町・上五島町・奈良尾町地区）、沖縄県うるま市（旧具志川市地区）・恩納村・宮古島市（旧平良市・城辺町地区）

平成20年3月吉日

厚生労働省研究班による多目的コホート研究

（主任研究者 津金昌一郎 国立がんセンターがん予防・検診研究センター予防研究部長）

国立がんセンター、国立循環器病センター

岩手県二戸保健所、秋田県横手保健所、茨城県水戸保健所、葛飾区保健所、

長野県佐久保健所、新潟県長岡保健所、大阪府吹田保健所、

高知県中央東保健所、長崎県上五島保健所、沖縄県中部保健所・宮古保健所

皆様方におかれましては、平成5年より実施してまいりました厚生労働省研究班による多目的コホート研究にご協力くださいまして、ありがとうございます。研究班では、過去にお答えいただきました生活習慣調査の結果をもとに、いろいろな生活習慣と、がん・脳卒中・心筋梗塞などの病気との関係を明らかにし、日本人の生活習慣病予防に役立てるための研究を、お住まいの保健所や市区町村と共同で進めております。

最近の成果としては、がん検診受診による胃がん・大腸がん死亡リスクの低下、運動やコーヒー摂取による結腸がんリスクの低下、イソフラボン摂取による早期前立腺がんや脳梗塞心筋梗塞リスクの低下、ビタミンC摂取による白内障リスクの低下などについて明らかになった他、糖尿病既往とがんとの関係など、最近特に興味を持たれている話題について報告することができました。

これらの最近の成果を含め、これまでの研究成果を冊子にいたしましたので、対象者の皆様にお送りさせていただきます。

また、今回送付したお手紙には、皆様方の健康状態がお変わりないかどうかを把握するための、簡単な「健康状況に関するアンケート」を同封しております。ご多忙中とは存じますが、アンケートへの回答と返送につきましても、ご協力いただきますようお願いいたします。

同封物は以下の通りですので、ご確認ください。

- 事務局からのお知らせ(このお手紙)
- 多目的コホート研究の成果(冊子等)
- 健康状況に関するアンケートとオレンジ色の返信用封筒(ご返送下さい)
- その他(お住まいの地域からのお手紙を同封している場合があります。)

今後もこの研究は、厚生労働省がん研究助成金による指定研究として、国立がんセンターが事務局を担当し、該当する全国11保健所の所長、国立循環器病センターや大学・研究機関に所属する研究者などにより研究班を組織し、お住まいの市区町村の協力のもとに実施していきます。主任研究者は、国立がんセンターがん予防・検診研究センター予防研究部長 津金昌一郎です。本研究の趣旨をご理解の上、引き続きご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

敬具

この研究について、何かご不明な点や疑問などがある場合、研究成果やニュースレターの送付をお断りになりたい場合などには、以下に示しました事務局に、お気軽にお問い合わせ・お申し出下さい。

また、万一、郵便物の送付を断られた方やお亡くなりになった方に、このお手紙が誤って送付されました場合には、お詫び申し上げます。

JPHC Study (Japan Public Health Center-based prospective Study)



厚生労働省研究班による

多目的コホート研究事務局

国立がんセンター がん予防・検診研究センター 予防研究部内

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL 03-3542-2511(内線 3392) FAX 03-3547-8580(直通)

電子メール jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp

ホームページ <http://epi.ncc.go.jp/jphc/>
